

# 令和6年度 経済部 施策展開方針 計画書

## 1 まちづくり政策(経済部関係分)

政策 2  産業	<b>政策展開の方向性</b>
	<p>北海道の大都市圏に位置する優位性を生かし、さらなる産業の発展を目指して、次のように取り組みます。 都市と農村の調和を図り、都市近郊型農業を推進します。 また、企業の誘致や多分野における連携などにより、商工業の振興を進めます。 さらに、民間・行政が連携して、えべつ魅力を生かした観光・物産の振興に取り組みます。</p>
	<b>令和6年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>
	<b>2-（1）都市近郊型農業の推進</b>
	<p>第5次江別市農業振興計画に基づき、農業経営の安定化、地産地消の推進、持続可能な農村環境づくり及び農畜産物の高付加価値化を目指します。そのために、令和6年度は、次の取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産性の高い安定した農業経営を実現するため、道央農業振興公社やJA道央等と連携した担い手の育成及び国・道の制度を活用した新規就農者への各種支援を行うほか、当市における最適なデジタル技術を活用したスマート農業に関する調査検討を進めます。</li> <li>江別の農業に対する理解を深め食材への安心感を育むために、都市と農村の交流センター（えみくる）等を活用し、小中学生を対象とした食育事業に取り組みます。また、都市と農村の交流事業において、生産者団体が実施する収穫体験ツアーや加工品等の販売イベントなどの取組に対し補助を行い、生産者と消費者の結び付きを強め、地産地消を推進します。</li> <li>持続可能な農村環境を形成していくため、スマート農業に関する調査検討を行うほか、国・道事業の活用による排水路改修等の基盤整備の推進や、鳥獣被害防止に向けた取組を行います。</li> <li>農畜産物の高付加価値化に向け、農畜産物や加工品のブランド化の取組として、えみくる内のテストキッチンの活用を促進するほか、新商品開発や既存商品のパッケージ改良等に対し補助を行います。また、加工品販売イベントの開催を支援するほか、江別産農畜産物や加工品をふるさと納税返礼品として登録することで道内外へのPRに努めます。</li> </ul>
<b>2-（2）商工業の振興</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>食関連産業の振興を図るため、同産業の設備投資や販路拡大活動を促進します。令和6年度は、引き続き、条例に基づく立地補助制度により設備投資に対し支援します。また、市内食関連事業者の商品開発・販路拡大といったマーケティング活動を支援するため、催事出展、商談会や相談会等の周知案内、バイヤー向けの「江別産品リスト」の制作・配布等を行うとともに、海外販路開拓支援として、海外販路開拓実践ワークショップや外国人向けPR動画等を活用したプロモーションを実施します。</li> <li>企業立地の促進を図るため、江別市の特性や優位性を十分に生かし、企業ニーズを踏まえた誘致活動や既存立地企業へのフォローアップによる競争力や生産性の向上を促します。そのため、条例に基づく立地補助制度や、サテライトオフィス設置推進補助金を活用し、企業の新規立地や既存立地企業を支援するとともに、今後の工業用地の確保に向けて、令和6年度は、市内における未利用地の活用について調査検討を進めます。</li> <li>経済関係団体、大学・研究機関等と連携しながら、中小企業の経営の充実、地域産業の発展を促します。令和6年度は、物価高騰等の影響により業況が悪化した中小企業の経営の安定性を高め、地域経済の活性化を図るため、江別商工会議所や金融機関と連携した各種融資制度を運営するとともに、市内企業・団体による経済活性化のためのイベント開催、研修・研究活動などを支援します。</li> <li>商店街を取り巻く環境変化を捉えながら、地域特性を踏まえた個性的で魅力ある商店街づくりを進めます。令和6年度は、地域住民の利便性の向上や地域社会活動の拠点としての機能の向上を図るため、商店街が取り組む地域課題の解決や賑わい創出に関する活動に対し支援し、商店街の活性化を促進します。</li> <li>就業機会の確保や職務能力の向上に向けた支援を行うことで、企業の人材確保や求職者の職場適応を促し、経済・社会の変化に応じた就業環境の充実を進めます。令和6年度は、総合型就労拠点施設「江別まちなか仕事プラザ」において、就労相談や各種セミナーのほか、合同企業説明会等を行い、女性・シルバー世代を中心とする求職者と市内企業のマッチングを行います。また、求職者の業務内容理解を深めることなどによりマッチングをさらに促進するため、試行的に職場体験を実施します。</li> </ul>	
<b>2-（3）観光による産業の振興</b>	
<p>第2次江別市観光振興計画に基づき、地域資源の有効活用、誘客・周遊の促進、江別産品の認知度向上を目指します。そのために、令和6年度は、次の取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江別市を知ってもらい、再訪・周遊につなげるため、食や農、歴史あるれんがややきもの、自然や街並みの景観等、当市が持つ地域資源を活かした各種イベント、プロモーション、SNS発信等を関係団体と連携して行います。</li> <li>一般社団法人えべつ観光協会が、民間の柔軟な発想により当市が持つ観光資源を有効に活用しながら、自らの組織強化及び自走化に向けた取組を進め、観光推進体制の中心的役割を担えるよう、補助金の交付、地域おこし協力隊の活用等により支援します。</li> <li>近隣市町村、石狩振興局及び空知振興局、観光関連団体等が取り組む広域事業への参画により、江別市の魅力を国内外にPRし、観光誘客につなげます。</li> <li>観光の入口となる拠点の形成に向け、江別アンテナショップGET'Sにおいて観光案内機能を充実させ、観光・物産関連の情報発信拠点としての機能強化を図ります。</li> </ul>	

政策の成果指標	単位	(初期値)	R6年度	R7年度	R8年度	目標
農産物等販売実績(JA道央江別市分のみ)	百万円	4,976				↗
市内に働きやすい環境が整っていると思う市民割合	%	30.7				↗
製造品出荷額等	百万円	89,150				↗
観光入込客数	人	1,584,938				↗
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
1経営体あたりの平均経営面積	a	2,101				→
えべつ農産物加工品認定数	件	8				→
農村環境の保全に取り組む団体数	件	9				→
グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	622,025				→
「企業誘致推進事業」 誘致により立地した企業・事業所数	社	0				↗
「企業立地等補助金」 補助金交付件数(累計)	件	40				↗
市の就労支援事業を通じて就職できた人数	人	135				↗
主要観光施設の入込客数	人	355,083				↗

政策 4 安全・安心	<b>政策展開の方向性</b>																				
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて、安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図り、災害に強く、誰もが末永く安心して住み続けられるまちづくりを進めます																				
	<b>令和6年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>																				
	4-（1）安全な暮らしの確保																				
	・消費者被害に遭わない安心して暮らせる社会を目指します。そのため、令和6年度は、消費生活相談及び消費啓発講座を実施するほか、消費者被害防止ネットワーク会議を開催するなど関係機関と連携し、消費者被害の未然防止に取り組めます。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合</td> <td>%</td> <td>83.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	R6年度	R7年度	R8年度	目標	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	%	83.9				↗
	政策の成果指標	単位	(初期値)	R6年度	R7年度	R8年度	目標														
安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	%	83.9				↗															
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																					
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「消費生活相談事業」 消費者被害救済件数(経済的被害)</td> <td>件</td> <td>129</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>↘</td> </tr> </tbody> </table>							「消費生活相談事業」 消費者被害救済件数(経済的被害)	件	129				↘								
「消費生活相談事業」 消費者被害救済件数(経済的被害)	件	129				↘															

政策 5  都市 生活	<b>政策展開の方向性</b>							
	計画的な市街地整備による機能的な都市づくりを進めていくほか、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実を図るとともに、デジタル技術などの活用による市民サービスの利便性や、行政事務の生産性の向上に取り組むことで、全ての市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。							
	<b>令和6年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>							
	5-（1）市街地整備の推進							
	・かわまちづくり計画に基づき、河川空間の賑わいを創出するため、国と共同で千歳川堤防及び旧岡田倉庫周辺の整備を進めます。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R6年度	R7年度	R8年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(都市機能、公園、上下水道)		%	80.0				↗
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「かわまちづくり事業」 かわまちづくり協議会の開催回数		回	2				→	

## 2 えべつ未来戦略(経済部関係分)

戦 略	■具体的施策 「関連事業」(担当課)
【戦略1】 子どもが主役のまちをつくる	
【戦略2】 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける	
【戦略3】 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる	① 企業立地の促進 「企業立地等補助金」(企業立地課) 「企業誘致推進事業」(企業立地課) 「企業誘致における未利用地活用調査事業」(企業立地課) ② 就業環境の充実 「江別まちなか仕事プラザ事業」(商工労働課)
【戦略4】 地域から地球温暖化防止に挑む	
【戦略5】 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく	② 農業経営の安定化 「スマート農業推進検討事業」(農業振興課) 「地域農業経営安定推進事業」(農業振興課)

## 3 経済部の資源

		実績			予算額	
		—	—	—	令和6年度	—
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)				2,737,313	
	特別会計 (B)				0	
	合計 (A+B)	0	0	0	2,737,313	0
正職員人件費 (千円)	人工 (a)				29.00	
	平均単価 (b)				7,464	
	人件費 (a×b)	0	0	0	216,456	0
総 額		0	0	0	2,953,769	0